

地方独立行政法人大阪市立工業研究所 平成28年度業務実績報告書にかかる項目別評価一覧表

年度計画	項目	H27評価		H28評価		評 定 説 明
		法 人	委員会	法 人	委員会	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 大阪産業の持続的発展のための研究開発の推進						
(1) 基盤研究の推進	1	B	A	B	B	・基盤研究テーマ数：目標を達成【目標80件⇒実績80件】 ・基盤研究の成果を基に製品化につながった件数（プロジェクト研究成果等を含む）：目標を達成【目標12件⇒実績12件】
(2) 研究成果の普及推進	2	B	A	B	B	・学会等での講演発表件数：目標を下回る【目標230件⇒実績193件】 ・審査付論文等採択件数：目標を下回る【目標63件⇒実績53件】 ・依頼による技術講演件数：目標を達成【目標120件⇒実績127件】
(3) 産学官連携によるプロジェクト研究の推進	3	B	B	C	B	・新規プロジェクト研究件数：目標を達成【目標3件⇒実績3件】 ・プロジェクト研究の成果を基に製品化につながった件数：目標を下回る【目標3件⇒実績1件】
(4) 外部資金導入研究の推進	4	A	A	B	B	・競争的研究資金（科学研究費補助金を除く）の新規獲得件数：目標を下回る【目標7件⇒実績5件】 ・科学研究費補助金等の新規獲得件数：目標を上回る【目標5件⇒実績6件】 ・経済産業省や欄池田泉州銀行などによる競争的資金を活用した企業支援の実施。
2 研究成果等の活用による技術支援サービスの強化						
(1) 技術相談サービスの充実	5	B	A	B	B	・技術相談件数：目標を上回る【目標25,000件⇒実績25,972件】 ・HP上での「インターネット技術相談ページ」の運用、技術相談情報データベースの活用による的確かつ効率的な相談の実施。
(2) 依頼試験分析、機器・装置使用等のサービスの向上	6	A	A	A	A	・依頼試験分析件数：目標を大きく上回る【目標9,000件⇒実績10,764件】 ・機器・装置使用件数：目標を大きく上回る【目標800件⇒実績1,429件】 ・利用企業へのサービス向上を図るため、機器整備、機器の早期修繕に努めた。
(3) 受託研究の高度化	7	B	B	B	B	・受託研究テーマ数：目標を若干下回る【目標680件⇒実績633件】 ・研究員受入型受託研究テーマ数：目標を下回る【目標180件⇒実績156件】 ・受託研究成果の製品化に向けたフォローアップ件数：目標を達成【目標58件⇒実績60件】
(4) 企業における技術者養成の充実	8	A	A	S	S	・技術者養成事業への職員派遣件数：目標を大きく上回る【目標50件⇒実績128件】 ・レディメード研修（5件、17名受講）、オーダーメード研修（5件、164名受講）など、企業ニーズに応じた技術研修を実施している。
(5) 知的財産の積極的な活用	9	B	B	B	B	・企業との共同特許出願件数及びノウハウ化・公知化した件数：目標を達成【目標40件⇒実績42件】 ・特許出願した研究成果の製品化のためのフォローアップ件数：目標を若干下回る【目標109件⇒実績101件】
3 企業支援のための情報収集・分析及び積極的な情報発信						
(1) 企業ニーズや技術開発動向等の情報収集・分析	10	B	B	B	B	・研究会等参加件数：目標を上回る【目標460件⇒実績497件】
(2) 積極的な情報発信	11	B	B	B	B	・市工研主催のセミナー等の開催件数：目標を達成【目標12件⇒実績15件】 ・新規顧客開拓のための企業訪問件数：目標を下回る【目標75件⇒実績53件】 ・メールマガジン登録件数が大幅に増加：28年度2,020件（27年度1,190件）
4 大学・研究機関、企業等との連携の促進						
(1) 産学官連携の促進	12	A	A	S	S	・大学等との共同研究件数：目標を大きく上回る【目標70件⇒実績90件】 ・研究共同体形成事業における新規プロジェクトの創生件数：目標を大きく上回る【目標3件⇒実績5件】 ・課題解決のためのマッチング件数：目標を大きく上回る【目標10件⇒実績18件】 ・上記マッチング件数のうち製品化に至った件数：1件 ・「おおさかグリーンナノコンソーシアム」活動から5件の新規研究開発プロジェクトの創生。
(2) その他支援機関との連携の促進	13	A	A	A	A	・大阪産業創造館との連携事業実施件数：目標を上回る【目標7件⇒実績8件】 ・金融機関等との連携事業実施件数：目標を上回る【目標1件⇒実績2件】 ・包括連携協定を締結した株式会社池田泉州銀行とともに「先進技術スタートアッププログラム」を創設 ・フラウンホーファーIPA・国立研究開発法人産業技術総合研究所と三機関連携シンポジウムを開催
5 地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所との統合に向けた取組の推進						
(1) 経営戦略の一体化に向けた取組	14	B	B	B	B	・業務プロセスの共通化に向けて、合同機器選定委員会を開催し、統合法人の各センターにおける機器整備計画の検討を行った。 ・融合研究として取り組んでいる新エネルギー分野における先導的な研究開発を推進するとともに、第2の融合研究テーマの候補を生活環境関連とし、両研究所の得意分野を活かした異分野融合による連携を推進した。 ・統合までの間により強固な連携を図るべく、合同発表会を共催した。
(2) 業務プロセスの共通化に向けた取組						
(3) 研究開発における連携の推進						
(4) 技術支援サービスや情報発信等における連携の推進						
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 自主的、自律的なマネジメントの実行	15	B	B	B	B	・新産業の創出を促す技術革新につながる研究分野において、複数の研究部から専門性の高い研究員を参画させ、集中的に取組む時限的なプロジェクト研究班を設置し、また外部資金を活用して派遣研究員を採用するなど、柔軟な組織運営に取り組んでいる。
2 職員の能力向上に向けた取組						
(1) 職員の意欲の喚起	16	B	B	B	A	・客観的かつ明確な評価基準に基づき実施した人事考課を処遇に反映するなど、職員の意欲喚起と能力向上に努めている。 ・組織的なOJTや海外留学を含む多様な研修の実施が着実に成果を上げてきており、平成28年度も多くの客員教授や審査会等の委員に就任及び表彰を受けている。
(2) 職員の人材育成						
3 業務の効率化	17	B	B	B	B	・定期的な運営協議会や業務推進委員会により、円滑な業務運営が遂行されている。
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 事業収入の確保	18	A	A	B	B	・事業収入（外部資金を除く）額：目標を若干下回る【目標208百万円⇒実績203百万円】 ・収益事業における収益率：目標を大きく上回る【目標32%⇒実績48%】
2 経費の節減						
第8 その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 施設の活用及び整備	19	B	B	B	B	・施設の老朽化対策だけでなく、労働安全衛生及び防災的観点からも施設改修を実施している。 ・利用者の安全確保と職員の安全衛生管理のため、全員を対象とした研修を実施している。 ・環境に配慮した取組や情報公開、法令遵守に向けた取組を着実に進めている。
2 利用者の安全確保と職員の安全衛生管理						
3 環境に配慮した取組の推進						
4 情報公開の推進						
5 法令遵守に向けた取組						

(委員会評価合計 S:2、A:3、B:14、C:0、D:0)